

令和元年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学校名	静岡東高等学校	記載者	堀川 裕男
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	授業改善と学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業参観年3回以上：100% ・「授業を通して学力や技能の向上が実感できた」と答える生徒の割合：全科目で70%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数：5人以上 ・1・2年家庭学習時間平日1日平均：2時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均：55以上 ・センター試験平均点：全国平均+5%以上 ・3年予備校DVD講座参加者数：40人程度 ・学習支援プラットフォーム(Classi)の学習指導への活用(1・2年生) ・56期生以降の進路指導計画の確立 ・東陵セミナーにおける探究的学習プログラムとパフォーマンス評価の開発 ・eポートフォリオによる活動履歴蓄積の推進 ・教員による先進校訪問：4人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向け、授業参観や予備校セミナー参加及び先進校訪問と意欲的に取り組まれている。更なる改善を取り入れられたい。 ・2年生の家庭学数時間が少なく、10月時点更に低下していることは問題。自己の課題に意欲的に取り組む向上策を望む。 ・教員同士の授業参観を実施し、互いに授業改善に向けて切磋琢磨している。 ・外部の民間教育機関のプログラムを柔軟に取り入れている。 ・取り組んでいる施策がしっかりと効果として表れてきている。 ・入試制度の変化等に対応した対応を今後も継続的に続けてほしい。 ・センター試験で全体の平均点が下がる中、まずまずの成績を上げることができたこと、またほとんどの生徒をセンター試験5教科型受験に導いたことは評価できる。 ・高校受験時の頑張りを特に家庭において継続させられるよう、学習支援を行い、学力向上や進路指導につなげてほしい。
イ	志の育成と進路目標への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講演・大学模擬授業生徒満足度：各90%以上 ・大学訪問生徒各自の目標達成率：100% ・東大訪問参加者数：40人程度、満足度：90%以上 ・センター試験5教科受験率：80%以上 ・ハイレベル模試受験者数：学年各30人以上 ・国公立大学現役合格者数：180人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業への参加の満足度、特にセンター試験5教科受験者83%強と、意欲が評価される。 ・国際交流を通じての主体的な相互交流を今後も続けてほしい。 ・国公立を目指す挑戦を更に強化してほしい。 ・大学の授業に参加させたり、キャリア教育をする等、授業への視野を広げ、興味関心を引き出す教育を行っている。 ・留学生との交流をする機会が充実して

		<ul style="list-style-type: none"> ・難関国公立大学(※6)受験者数 : 25人以上、合格数:10人以上 ・専門教養講座の単位取得生徒数:10人以上 ・生徒個人面談回数:5回以上 ・静岡大学実験実習講座参加者数:20人以上、満足度:90%以上 ・修学旅行生徒満足度:各コース90%以上 ・内湖高級中学授業交流(4月)満足度:80%以上 ・留学生交流会の実施 ・エンハancementプログラム参加者数:30人以上、満足度:90%以上 ・英語外部検定CEFRB1レベル:80人以上、A2レベル:300人以上 			<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定をできるだけ高くすることが志を高める原動力となる。 ・社会で活躍する人の話や、大学の講座あるいは他校の生徒と交流する機会を持つことは今後の進路選択にも、社会を生き抜いていくためにも大変有意義である。 ・ハイレベル模試、東大訪問参加の取組みがB、Cとなっているのは生徒のニーズに合致していないからだと思われる。他の取組みは目標を達成できている。
ウ	<p>自主自律の精神と豊かな人間性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数1日平均:全校で5人以下 ・「自ら進んで挨拶をしている」と答える生徒:90% ・各部活動の目標達成率:80% ・最終下校時間19:30の遵守 ・東陵祭生徒満足度:80% ・「高校生活指導プログラム」による系統的な初期指導とクラス目標づくりの実施 ・情報モラル講座の実施 ・情報モラル関連の生徒指導:0件 ・文化教室 生徒満足度:80%以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数:3,000冊以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活指導プログラムに於いて、自学自習の実施やクラス自主目標を掲げ、成果をあげた。 ・文化教室の開催は、日本の多様な文化に直接接する機会であり、継続されたい。 ・図書館の利用増加は大変良く、今後は多様な企画や提案型の提供を期待する。 ・図書館の利用が多い。読書をすることは深い思考を育み、また、文章力がつくため更に継続すると良い。 ・ビブリオバトルで他の人の意見を聞くことも大切である。 ・特性の育成という視点では、東高ならではの特徴ある目標があればより良い。 ・部活動や様々な活動で生徒が活躍しているのはうれしい。 ・部活動や委員会活動に積極的に関わっている生徒には有効な取り組みである。それに該当しない生徒も、遅刻せず登校し、元気に挨拶ができるよう、楽しい活動を多く展開して、明るい雰囲気のある学校であってほしい。
エ	<p>命を守る教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な生徒交通事故件数:0件 ・保健便りによる健康指導回数:15回以上 ・集団を対象とした保健教育の回数:3回以上 ・グループエンカウンター実施:各学級1回 ・セラ・プラスの実施と活用:全学 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンターは、今の時代こそ課題解決を話し合う手段として有効であり、対人関係、多様な生き方を受容する機会として今後も期待したい。 ・地域防災への参加向上は素晴らしい。今や防災の地域の担い手は高校生等若者が主体であることを強く認識願いた

様式第5号

		<p>年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1分間カウンセリング（1年生）の実施 ・地域防災訓練への生徒参加率：80%以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施 			<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全に健康的に学校生活を過ごすことが何よりも重要である。 ・教員間の信頼関係がしっかりしているため、生徒が勉学に打ち込んでいると感じる。 ・きめ細かな指導が実施されている。 ・がんの勉強会など、専門家を呼んでの取組みは評価できる。 ・健康、交通安全教育、防災などをリンクして教育すると面白い。 ・セラプラスの実施によって、個人レベルでは自己を見つめることができ効果的であった。今後は、他者との関わり方に悩む生徒達に有効なグループエンカウンターの実施を期待する。
オ	<p>広報活動の充実と教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業の参加者数計：1,600人以上 ・土曜公開授業外部評価満足度：90%以上 ・土曜公開授業での校内美化点検の実施 ・HP更新頻度：週5回以上 ・HPにおける各部活動の活動報告：学期1回以上 ・事務室窓口へのクレーム件数：0件 ・月1回の安全点検の実施 ・ごみ処理費前年比減 ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒：80%以上 ・学年主任連絡会の実施3回以上 ・一分掌一業務改善の実施 ・校務分掌・部活動の統廃合による校務の整理 ・学習支援プラットフォーム(Classi)のアンケート機能を活用した校務の効率化 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業の開催は、保護者等関係者の理解を得る上で効果が大きい。今後地域への広報活動を強化し、参加を呼び掛けてほしい。 ・分掌毎の業務改善への取組みは評価したい。更に全校的な業務改善に取り組んでほしい。 ・土曜公開授業を充実させることは東高への良い生徒を募集する機会となるため、実施する季節を工夫してみたらどうか。 ・公開授業の満足度の低下が気になる。 ・学年主任連絡会は記録を残すという点で大切なので実施に向けて再検討が必要である。 ・東高の素晴らしい取組みがあまり外部に知られていない。よりPRして志願者が集まるようになると良い。 ・公開授業の実施時期については、検討をお願いしたい。